

被災地から11 子ども達の心のストレスを緩和する

子ども達がたくさん集まったテントで、サルミアティは、1歳4ヶ月になる息子アリフを腕に抱きながら話しをしてくれました。「この子は、初めてこのテントに来たとき、物珍しそうに目をきょろきょろさせながら、ここは何なの？ 皆、何をしているの？と私に聞いたわ。そして、すぐに嬉しそうに笑ったのよ」

そのテントはちょうど30人くらいの子とお母さん達が入れるほどの広さです。このテントは、CWSが開設した、CFS（チルドレン・フレンドリー・スペース）と言って、被災した子ども達の「居場所づくり」の取り組みです。この活動の目的は、被災した子ども達の心理的ショックを和らげ、トラウマをケアするものです。



息子アリフ君とCFSに参加するサルミアティさん

「私の娘サリは、あの地震が起きた日から、暗がりをととても怖がるようになってしまったの」とサルミアティは、10歳になるアリフ君のお姉ちゃんである娘についても話してくれました。

CWSの心理ケアプログラム専門家のデッシィは、一人一人の子どもがトラウマによる反応はそれぞれ違うと指摘します。母親にいつもしがみついて離れない子もいれば、夜中におもらしをするようになってしまう子もいます。また、すっかり食欲をなくしてしまった子もいます。

「子ども達の不安を和らげるために、このCFSはとても良い取り組みです。娘のサリは必ず次のセッションも参加するわ」とサルミアティは、色とりどりのクレヨンで絵を描いて遊ぶ二人の子どもを見ながら言います。

CWSは、子ども達に対していわゆるレクリエーション的な場を提供するだけではなく、震災で深い心の傷を負った子どもの心理をケアする12の特別プログラムも行っています。現在、CWSはスンガイ・リマウ地域における3つの村落で、この子どもの居場所づくりの取り組みを行っています。

(2009.10.27 現在)

ご寄付の方法：

【郵便局（ゆうちょ銀行）から】

郵便振替口座番号：00930-1-119782

加入者名：特定非営利活動法人アジアボランティアセンター

*通信欄に「インドネシア復興支援」とご明記ください

*領収証ご希望の場合はその旨もご明記ください

【銀行口座に】

銀行名：三菱東京 UFJ 銀行阪急梅田北支店

口座番号：5371964

名義：特定非営利活動法人アジアボランティアセンター

*銀行振込の場合「09IN」とご指定ください

*領収証ご希望の場合は別途 AVC 宛 TEL (06-6376-3545) で

振込内容（振込日、お名前、ご住所、TEL）ご連絡ください